



第 38 号

昭和40年1月5日印刷
昭和40年1月10日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3, 427
宇都宮商工会議所
電話(3)3,071 3,072
電話(3)3,073 3,074 番

編集兼
発行者 藤生善之助
印刷者 秋場栄吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話(4)4,106番(代)

年 頭 所 感

日本商工会議所
東京商工会議所

足 立 正

昭和四十年の新春を迎え、お慶びを申しあげます。

今年の経済界は、いろいろと難しい問題をかかえております。しかも当面している問題の多くは、過去の高度成長時代からすでに胚胎していたもので、時がたち、根が深くなっているだけに、これらの問題を解決していくにはよほどの努力と忍耐が必要と思います。今日、消費者物価の上昇、金融市場のひずみ、証券市場の不振、あるいは労働力不足や企業体質の悪化など、それぞれの分野で大きな問題を生じていますが、どの一つをとってみても容易でないことがわかります。

また、昨年来、経済界にたちこめている不況は、過去いくたびかの金融引締めるときと違って、生産や輸出は予想以上に伸びているのに、企業の収益性は逆に悪くなっているという点にきわだった特徴があります。これは、詮じつめてみると、過去数年にわたる巨大な設備投資で生産能力は大きくなったが、その供給に見合ってこれを吸収するだけの市場がなく、在庫をかかえて、いわば過剰生産的な状態に陥り、資本費負担にあえいでいる現象ともみられます。設備投資によって競争力をつけたことはよいが、市場の見通しや競争のあり方に問題があったように思います。

またこの数年来、おしなべて企業の財務構成が悪化し、ますます膨脹する企業間信用にたよって資金繰りをつけているというのが偽りのないまの姿です。したがって、一時のカンフル注射だけでなく、この企業の体質面に眼を向けて、これをよくしていくという努力の必要があるわけです。

かような企業の現実の姿をみるにつけても、わが国においても株主に対する責任とか、企業利潤といったものへの考え方がもっと確立され、強調されてしかるべきだと思わざるをえません。

国際経済の変動のなかで、さきごろのポンド不安は、世界中にいろいろ波紋を投じましたが、わが国としても、すでに国際経済に深く組みこまれた経済のもとにあるという

この現実を踏みしめて、政府も、これからの経済政策をもっと堅実に進めるべきであり、また民間もいままでと違った経営理念なり態度を持つべきです。物を作ればいくらでも売れた時代は過ぎ去り、日本経済がひとつの屈折点にさしかかっており、量よりも企業の体質や収益性、商品の品質とか技術の研究、開発などを重んずる経営へと発展していかねばならない時代であります。

幸いに、わが国の輸出は好調であり、これが不況下ながらも前途に希望を抱かせるものでありますが、このうえとも輸出の振興に向って、官民ともに創意と工夫と努力を積み重ねていかねばならぬと考えます。

一方昨年以來、とくに中小企業方面では企業の倒産がふえています。このような不幸をたびたび繰り返さないためにも、その原因を深く分析してこれを教訓として将来に備えなければならぬと痛感する次第です。

この金融引締めに関連して、企業が取引先からもらうべき売上代金をなかなかもらえないで苦しんでいる例も数多いことであり、これは経済界共通の問題ですから、この際一つ「購入代金の支払促進」ということを合言葉にして、この悪循環を断ち切り、上からの金融措置とあわせてこの面からも資金繰り緩和のキッカケを早くつかみとるようにしたらどうかと思います。

とにかく昨年は、わが国が経済的には先進国への仲間入りをするのができた画期的な年であり、また輝かしいあのオリンピックの歴史的な成功の年でもありました。

わが国の地位が高まり、世界的な評価を受けているということは、それだけ国際協力や低開発国への援助などの責任の一端を背負うことになりました。

今年は、今まであまりに背伸びをしすぎていた経済の足もとの土台をしっかりと安定させ、バランスをとりもどしながら実力を培って、さらに将来への発展の地固めをする大切な時代の第一年といたしたいものであります。

新年を迎えて

栃木県知事 横川信夫

新春をめでたく迎えられましたことをお慶び申し上げます。

昭和四十年は商工会議所の皆さんのご繁栄のよりよい年でありますよう心からお祈りいたします。

昨年は急速な経済成長の過程において生じた「ひずみ」の是正と景気過熱防止のための一連の金融引締めなどによる苦難の年でありました。しかしながらこれらの諸問題はすべて解消されたわけではなく、今年に持越されたわけであります。従って今年には高度成長対策によって生じた「ひずみ」をさらには是正する必要がある、経済各分野にわたって均衡のとれた発展のための安定成長の年と言えましよう。しかし、こうしたきびしい経済情勢のうちにあっても中小企業者にとって必ず繁栄の途が残されているものと確信するものであります。即ち経営の合理化、設備の近代化、さらには事業の共同化、協業化等を図るなど、時代にマッチした経営を行っていくことであります。

県としても多角的、流動的に変貌する内外のきびしい経

新年のことば

宇都宮市長 佐藤和三郎

みなさん、新年おめでとございます。

すがすがしいお正月を迎えられたことと思います。

言い古された言葉に「一年の計は元旦にあり」と申します。

いま、輝かしい年のはじめにあたって過去をふりかえりこれから目の前にくりひろげられる一カ年の希望のかてにすることも意義あることと存じます。昨年はオリンピックが東京で開催されましたが、この小さな島国の日本が堂々と立派にやり遂げましたことは、国民の日頃の努力のためものだと思います。また、経済界はオリンピックくんとそ

新年のご挨拶

栃木県商工会議所連合会々々長
宇都宮商工会議所会頭 保坂正七

光輝ある昭和四十年の新春を迎え、決意を新たに、地域経済の発展に寄与して参ることは、洵に御同慶の至りであります。

昨年を顧みますと、経済の高度成長に伴い、国内産業は大きく飛躍は致したものの、国際収支改善のため行なわれた、金融引締め政策が大きく浸透し、国際収支は概ね好転したとは申せ、国内産業に対し深刻なる影響を及ぼし、多くの企業倒産を招来するに至ったが、本県においては、夙に県勢振興長期計画を策定実施して参ったことと、われ

環境への適応のもとに、高度成長に伴う「ひずみ」是正のための政府の革新的な施策に即応し、商工労働行政推進計画に基づく各般の施策を商工会議所等と一体となって重点的かつ積極的に推進し、本県商工業の安定的成長発展の基盤を培うことを目標にしております。特に本県産業経済上重要な地位を占める中小企業の近代化、合理化のための施策を前向きな姿勢で強力に展開し、その体質を改善し、経営基盤を安定強化し、もって中小企業の健全な成長発展を図りたいと考えております。しかしながら何といつても企業の繁栄を導くものは企業者自らが前進しようとする自主的努力が根幹でありますので一層のご努力をお願いする次第であります。

最後に商工会議所のご発展を願うとともに今後ますます地域商工業の発展の中核体となつてご活躍下さい、地域経済発展に寄与されますよう祈つて新年のあいさつといたします。

のムードのもりあがりと共に好景気をもたらした継続しましたが、金融引締め政策以来苦境に入りつつあり、景気の波は今年一年くらいは低調にとどまるだろうとのこと、大きな期待はもてないにしても、奮起一番すべての分野においてよりよい生活を築くために、あらゆる努力をしなければならぬと思います。

今、おおらかな年のはじめにあたり、今年もよりよい年でありますよう心から祈ると共に、みなさんのご健康と倍旧のご支援ご協力を切にお願いいたします次第でございます。

われ商工会議所が昨春以来、これが対策の強化を進言して参った結果、全国稀にみる僅少な倒産件数で越年できたことは、御同慶にたえないところであります。

然してここに迎えた新年は、複雑なる国際情勢、本格的開放経済の下、高度成長によるひずみ是正と、これに関連しての景気変動等は、さらに厳しいものがあると痛感されます。

ここにおいてわれわれ商工会議所は、地域経済振興の見地に立って、中小企業の近代化を目標として、経営の合理

化、技術の向上、労務並びに金融対策等各般の事業を、積極的に推進して行きたいと存じます。
 特に中小企業の拠りどころとしての、中小企業会館の建設及び中小企業指導センターの実現を期し、以て中小企業の振興発展に、最善を尽して参りたいと思ひます。

しかしながら中小企業の近代化は、申すまでもなく中小企業者自身の自覚と、自主的努力が必要と存じますので、いよいよ結末を固め一段の御奮闘を冀う次第であります。
 以上年頭にあたり所懐の一端を述べ、新年の御挨拶いたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昭和四十年元旦

宇都宮商工会議所

顧問	横川 信夫	常議員	荒川 善次郎	議員	米津 正一
〃	佐藤 和三郎	〃	青木 源吉	〃	田野 藤一郎
〃	福島 悠峰	〃	箕輪 忠次郎	〃	植木 芳太郎
〃	大谷 正夫	〃	設楽 高治	〃	増 淵 良吉
〃	上野 小七	〃	横倉 良夫	〃	福 田 俊次
〃	飯 島 守	〃	後藤 喜一郎	〃	福 田 三男
〃	大野 陽一郎	〃	鈴木 良一	〃	小 倉 鉄藏
〃	野 沢 英一	監事	笠原 正一郎	〃	斎 藤 五 一
〃	増 井 靖	〃	野 中 辰吉	〃	坂 井 敏雄
〃	下 平 実	〃	上野 修二郎	〃	杉 本 博
〃	松 本 好直	議員	入江 庫介	〃	渡 辺 三男
〃	保 坂 正七	〃	笠間 靖一朗	〃	中 村 芳夫
〃	小 林 洋	〃	福 田 新一	〃	松 本 善次郎
〃	河合 長一郎	〃	渡 辺 貞一郎	〃	中 原 博愛
〃	高 橋 栄作	〃	荒 井 祐治	〃	宮 本 賢吉
〃	荒牧 春三郎	〃	見 当 邦雄	〃	中 村 利雄
〃	専務理事 藤生 善之助	〃	岩 田 敬	〃	木 村 明
〃	常議員 石海 勇次郎	〃	竹 石 丑松	〃	増 淵 幹男
〃	小保 方光三	〃	上 野 美治	〃	安 中 房司
〃	渡 辺 愛司	〃	篠 崎 一 郎	〃	河 合 健治
〃	粕 谷 松一郎	〃	飯 塚 末吉	〃	赤 塚 毅
〃	田 辺 正平	〃	岡 川 菊造	〃	田 代 博
〃	野 沢 卯三郎	〃	亀 田 豊房	〃	山 崎 徳雄
〃	柳 田 広	〃	安 久 都忠徳	〃	藤 沢 清吉
〃	福 田 松兵衛	〃	田 嶋 光男	参 与	羽 石 成一
〃	福 田 富次郎	〃	内 藤 子生	〃	岡 本 喜一
〃	鮎 田 昇平	〃	渡 辺 長造	〃	萩 原 行男
〃	小 花 末吉	〃	柿 沼 克巳	〃	五 味 啓四郎

日商常議員会にて 各種要望議決さる

過般の日本商工会議所常議員会において、次の案件が議決され、それぞれ政府並びに関係当局宛、要望されることになりました。

記

- 1 行政改革の断行を要望す(経済四団体)
- 2 地方開発促進のため公共投資増額に関する要望
- 3 昭和四十年年度貿易振興および経済協力予算確保に関する要望

(一) 行政改革の断行を要望す

経済団体連合会
日本商工会議所
日本経営者団体連盟
経 済 同 友 会

戦後二十年、この間における内外諸情勢の急速な変化に伴い、行政に対する経済界ならびに国民の要請も著しく変化しつつあり、開放経済を迎えたこの機会に、わが国行政機構および行政運営を、この新事態に即応するよう近代化し、合理化することは極めて緊要であり、これはまた国民のひとしく切望するところでもありと信ずる。

さきに与野党一致のもとに設置された臨時行政調査会は先般長期にわたる審議を了えて、行政改革に関する意見を答申したが、われわれは、わが国将来の経済的社会的発展のために、この改革意見の主旨を実現することが特に急務であることを痛感する。

われわれは今般、行政改革の推進のために財界としての合同委員会を設けることとし、また改革の実現に当って必要な協力を惜しまない旨の申合せを行ったが、政府においても行政改革を新内閣の最重要政策としてとりあげ、勇断をもって調査会の答申の趣旨を速かに実施に移し、国民の期待に応えられんことを、ここに経済四団体の総意として要望する。

(二) 地方開発促進のため公共投資

増額に関する要望

日本商工会議所

日本経済の高度成長過程で、大都市とその近接地域に産業と人口の過度の集中が行なわれた結果、これら過密地域における経済機能の阻害、社会環境の悪化をもたらすとともに、これら地域と低開発地域との間に生産・所得等の格差を拡大せしめてきた。

従って過密都市の弊害を除き、地方開発を促進し、地域

間格差を是正するためには、過密都市における都市再開開発策と併せて、工場始め官庁、教育等の施設の地方分散を強力に推進すべきであり、地方における環境条件整備のため、全国的総合的な国土開発利用計画のもとに、新産業都市の建設、工業整備特別地域の整備、低開発地域の振興を促進することが必要である。このため、工場等の地方分散に対する税制金融上の優遇施策を強化するとともにオリンピック諸施設に関連する公共投資の終了を機会に、地方に対する公共投資を大幅に増額せられるよう要望する次第である。

(三) 昭和四十年年度貿易振興および経

済協力予算確保に関する要望

日本商工会議所

国際収支の拡大均衡をはかるため、輸出の振興は、現下のわが国経済の最大の課題であるが、国際経済環境はいよいよ厳しさを加えており、より強力な輸出振興施策が切に望まれる。

よって、政府におかれては、輸出振興ならびに経済協力のための諸施策の実施に要する国家予算を是非とも大巾に確保するとともに、補助金制度の合理化にあたっては、輸出振興施策の推進という基本方針に反するがごとき貿易振興および経済協力関係補助金の廃止または削減は絶対に行けるよう配慮せられたい。

なお、この際、海外市場開拓に資するため、下記施策のための予算措置をとくに強く望む次第である。

記

- (1) 輸出市場の開拓に活動する企業の優秀な第一線職員養成のために国立貿易研修所を設置すること。
- (2) 対外経済交渉を強力に推進するため、在外日本人商業会議所の機能を活用して民間ベースにおける経済外交の実をあげるようその強化をはかること。

●昭和四十年

新年名刺交換会

盛大に開催さる

一九六五年の新しい年を寿ぐと共に、さらにこの年の健全なファイトを、新たな思いの胸に誓い合う、すがすがしき初春の行事である名刺交換会は、本年も例年のとおり宇都宮市並びに当所との共催にて、一月一日午前十一時より、新装なった栃木県婦人会館大ホールに、各界の代表名士、三百余名の参会者を迎え、盛大な新年祝賀の宴が開催されました。

参会者一同更始一新の生気をもって、新春の賀詞をかわすと共に、お互の健康と繁栄とを寿ぎ、厳肅の中にも最大のよろこびを尽し、極めて意義深きものがありました。

日商だより

第一二回常議員会開催

- 一、日時 39・11・18日(水)14時~16時
- 二、場所 東商第1・2会議室
- 三、出席者 当所より保坂会頭並びに藤生専務理事出席
- 四、報告事項

- (1) 昭和39年9月・10月業務概要報告
- (2) 昭和39年11月・12月事業予定報告
- (3) 第5回中小企業・労働特別合同委員会よりの報告
- (4) 第22回観光委員会よりの報告
- (5) 第11回地域経済開発特別委員会よりの報告
- (6) 産炭地域振興に関する件
- (7) 全国商工会議所業務概況報告(39年5月分)
- (8) 財団法人全国商工会議所共済会業務報告
- (9) その他

五、協議事項

- (1) 会費減免に関する件(高知県須崎会議所)
- (2) 新内閣に対する要望の件
- (3) 中小企業集団化貸付金の償還期間の延長、貸付率の引上げ等に関する件
- (4) 中小企業投資育成株式会社の改正および運営の改善に関する件
- (5) 国民旅館制度に関する件
- (6) 地域観光計画策定に関する件
- (7) 新入会員承認の件(徳島県 阿南会議所)
- (8) 年賀郵便に関する件(各会議所間は廃止のこと)
- (9) その他
- (10) 次回常議員会開催期日の件(12月16日)

第一二三回常議員会開催

- 一、日時 39・12・16日(水)13時~14時30分
 - 二、場所 東商第1・2会議室
 - 三、出席者 当所より藤生専務理事出席
 - 四、報告事項
- (1) 昭和39年11月業務概要報告
 - (2) 昭和39年12月・40年1月事業予定報告
 - (3) 第39回経済政策委員会よりの報告
 - (4) 地方開発促進のための公共投資増額に関する件
 - (5) 全国商工会議所業務概況報告(39年6月分)
 - (6) 財団法人全国商工会議所共済会業務報告
 - (7) その他
- 五、協議事項
- (1) 昭和40年度貿易振興および経済協力関係予算確保に関する件
 - (2) 日本商工会議所事務規則一部改正に関する件

(3) その他

(4) 次回常議員会開催期日の件(1月20日)

六、昭和39年度叙勲・国家褒章者に対する賀状および記念品の贈呈

七、講演

演題・新しい世界と日本の外交

講師・時事通信社 社長 長谷川才次氏

◎栃木県商工会議所議員大会

栃木会館に於て盛大に開催さる

栃木県商工会議所連合会主催、第一回栃木県商工会議所議員大会は、十二月二日午前十時三十分栃木会館小ホールに於て、宇都宮・足利・栃木・鹿沼・佐野・日光地区・大田原・小山・真岡の県内九市のブロック、各地商工会議所の議員三百二十三名が参集して盛大に開催されました。

大会は宇都宮商工会議所藤生専務理事の司会により、栃木上原会頭の開会の辞に始まり、栃木県商工会議所連合会保坂会長の大会(委員長としての挨拶(別項))に続いて、県内各会議所推薦功労役員議員の表彰が(被表彰者四十五名、当会議所河合・高橋副会頭、石海・粕谷・小花常議員)行なわれ、来賓三十八名の代表として、東京通産局長(代)加藤商工部長、日商会頭(代)佐々木商工指導部長、坪山参議員議員・横川栃木県知事・田村栃木県議会議長・佐藤栃木県市長会々長の各氏から、それぞれ丁重な祝辞を賜わった。

議事に入るに先立ち司会者より議長の選出について、申合せにより主催地の会長をあてた旨、議場に諮りたるところ、全員異議なく拍手を以て賛成、当所会頭保坂正七氏が議長席に着いた。

直ちに各地会議所の次のような、提出議案の各議題毎に参集議員の意見討論が熱心に行なわれ、議長採決によって全議案が採択され、それぞれ各要路について陳情・要望などの具体的運動を推進することを、万場一致協議決定され全議案を終了、大会宣言を可決、最後に真岡塚田会頭の閉会の辞を以て、別席にて祝賀パーティー開催の後、午後4時30分散会した。

本大会は県下経済界の当面した問題を、研究討議することによって、県経済の振興と発展に資することを目的として、第一回大会として開催されたもので、今年度は特に経済界全般に会融難等によって、景況後退が顕著とみられるときでもあり、出席議員の関心の深い問題が、終始熱心に討論され、極めて有意義な催しとなった。

記

- (一) 小売商業の商権擁護について(宇都宮提出)
- (二) 中小企業従業員の福祉向上について(足利提出)
- (三) 労働行政の一本化促進について(栃木提出)
- (四) 中小企業の近代化促進について(鹿沼提出)
- (五) 両毛線電化促進と県南産業の振興について(佐野提出)
- (六) 中小企業に対する会融対策強化について(日光地区提出)

- (4) 県内主要道路網の整備強化について(大田原提出)
- (5) 県内労働力の確保について(小山提出)
- (6) 中小企業指導センターの設置について(真岡提出)
- (7) 中小企業の税制改正について(追加議案宇都宮提出)

開 会 挨拶

栃木県商工会議所連合会
会長 保坂正七

本日茲に第一回栃木県商工会議所議員大会を開催致しました処、県下各会議所の議員各位には、歳末を控え極めて御繁忙中にもかかわらず、大多数の御参加を頂きまして誠に有難う御座います。

また本日は、中央よりは日商会頭・通産局長・地元よりは、横川知事を始めとして、多数の御臨席を頂きまして、かくも盛大に開会することを頂きましたことは、私も主催者にとりまして、この上もない喜びであり、且つ光榮至極に存する次第でありまして、この点厚く御礼を申上るものであります。

なお、我々会議所の運営に就きましては、関係御当局は勿論、本日御臨席を頂きました来賓各位には、日ごろ格別なる御指導御鞭撻を賜りまして、お蔭様で会議所も今日の段階まで成長するに至りましたことは、誠に有難き次第で御座いまして、此の機会に深く感謝の意を表するものであります。

さて我が国の経済も戦後二十年の歴史を経て、復旧より復興へ、更に繁栄へ、そして高度成長へと、飛躍発展への一途を辿って参りましたことは、誠に御同慶の至りでありませぬ。

この間に処し我々商工会議所も、亦大なる役割を果して来たかと自負するものであります。国の経済政策はもとより地方行政の末端への浸透、或は業界の要望を政治に反映せしむる陳情請願等、常に商工業界の唯一の機関として、その役割を担い、地域経済の開発と企業格差の是正等、均衡のとれた、安定した経済の発展を希って来たのであります。最近の様相は、これと全く反対の方向に崩れかかり、大企業と中小企業との格差は益々烈しくなり、開放経済の進行に伴い、国際的な外部要因と国内的な要因、即ち金融引き締め人手不足等の影響が、ことごとく中小企業にしわ寄せとなり、倒産の激増を見るに至ったのであります。本年一月以降十月末までに三千件以上の倒産を見、この損害は四千億円以上と想像されるのであります。我々はこの連鎖反応を極度に恐れるものであります。

幸い本県の倒産二十二件の小数にとどまったことは、県の指導宜しきこと、我々会議所の防止対策の結果と思われませぬ……。

更に重大なことは、今日に至って大企業の面に行詰りの傾向が、著しく表われて来たことであります。それは株式の暴落と、証券市場の低迷状況を見ても、一目瞭然であります。然しながら開放経済に移行した我が国は、もは

Miyajimacho Utsunomiya
TEL. (2) 3.726・6.021・2.958

や後戻りは絶対に許されぬのであります。何んと言っても一國経済の担い手は、我々商工会議所でありませぬ。今更高度成長のヒズミ云々では済まされませぬ。今こそ我々商工会議所が中核となって業界の一致団結を図り、中小企業の近代化を促進し、以てこの難局を打開する以外に方法はないと存じます。

本大会の目的も亦こゝに存する訳であります。要は激動する経済社会の実体を把握し、業者自身の自覚と責任において、自主的努力を傾倒することによってのみ、道は自から開け、中小企業基本法の精神を活かし、政府の中小企業振興対策の凡てにも、始めて活用の妙味を發揮し得るものと存じます。

以上の見地に立って本日の大会が、単なる行事に終らず慎重審議を尽くして有終の美を結ぶことを希望致しまして御挨拶と致します。

◎昭和四十年年度市商工施策に関する
要望書提出さる

過日開催せる当所議員協議会に於て、提案議決されたる来年度宇都宮市商工施策に関する建議(要望)書を、十二月十二日、次のおり会頭名を以て、市当局宛提出致しました。

記

当市々勢振興特に商工業の振興に関しては、多年に渉り熱意ある施策を遂行せられ、ために今日の発展を見たことは誠に御同慶の至りで、その御努力に対し深く敬意を表するものであります。

扱、昭和四十年年度の我が国経済は複雑なる国際情勢、本格的開放経済の下、経済の高度成長によるひずみ是正のため中小企業の近代化推進、農業構造の改革、社会開発等幾多の重要問題をはらんでいることは御高承の通りで、当会議所としても来年度は管内中小企業の保護育成のため特段の施策を遂行すべく計画を進めておる次第であります。

加うるに当市は曩に首都圏整備委員会の市街地開発区域の指定をうけ、之が構想を推進すべき重大なる使命を負荷されていることを考へるとき、明年度の商工施策推進にあたっては従来の施策はもとより特に下記事項について強力に措置せられ、管内商工業の振興を講ぜられたく茲に建議(要望)いたす次第であります。

記

- 1 広域都市計画と道路整備について
 - イ、基幹道路の策定と既定道路の整備
 - ロ、商業卸団地の造成
 - ハ、地場工業集団化のための中小工業団地の造成
 - ニ、住宅団地造成と商店街用地の確保
 - ホ、公設(有料)駐車場の設置
 - ヘ、国鉄宇都宮駅東口の早期実現
 - ト、工場誘致と公害防止対策
- 2 小売商業協業化と商店街振興対策の推進について

(中小企業近代化資金助成法、商店街振興組合法の適用による大型化と組織化の推進)
- 3 市制度金融の貸付限度並に条件改正について
 - イ、中小商工業施設改善資金

(現行 七〇万円以内を二〇〇万円以内に引上げ
保証料 市で半額補助)
 - ロ、従業員宿舍建設資金

(現行 必要経費の1/2で二〇〇万円以内を
保証料 市で半額補助の1/2で二〇〇万円以内に引上げ)
 - ハ、中小企業互助会の運転資金

(現行 五〇万円以内を八〇万円以内に引上げ
保証料 市で全額補助は従来通り)
- 4 中小企業経営指導の強化と下請企業のための技術訓練所の設置について

(経営診断、経営管理者研修、中小企業指導担当者
の養成研修の強化、技術指導、技術者研修に関する
訓練所の設置(中・高年齢層を含む))
- 5 中小企業従業員共同住宅の建設について

(厚生年金還元融資により明年度は差し当り最低二棟四

楽しいのべ
くらしるべ
道



うつのみや



てぎ
(5111(2)TEL表代大)

- 6 八世帯の建設を図られ度し)

公設運動場(水泳場を含む)の増設と屋内競技場の設備拡充について

(スポーツ振興による青少年不良化防止と中小企業従業員の体位向上に資するため、増設を図らるゝと共にスポーツセンターの設備拡充を図り、特に中小企業従業員が充分利用出来る様運営を図られ度し)
- 7 管内学卒者の管外流出防止について

(職業安定所、学校当局と緊密な連絡のもと万全を期され度し)
- 8 宇都宮鉄道管理局設置促進本部活動の積極化について
- 9 市内観光資源の開発と整備について

(宇都宮市観光協会、その他関係団体への助成を強化し事業活発化を図られ度し)
- 10 塵芥処理の迅速化について

(市街地美化と環境衛生の見地から充分意を注がれ度し)
- 11 公設防犯灯の設置について

(従来町内諸施設が円滑に共同管理されて居ったが、住居表示制度の施行に伴いその実施区域に於ては、町名地番の変更により之等の管理が非常に乱れ勝である。特に街路灯の管理にその傾向が多く見られるので、防犯上の見地から市内全域に意を注がれ、防犯灯の設置を大中に計画せられ度し)
- 12 市商工行政機構の拡充について

(中小企業基本法制定施行並に広域都市計画の遂行に伴い、商工行政の業務は格段の荷重を加えつゝあるので現行機構を拡充し、商工部を設置すべきである)

宇都宮市交通安全
対策協議会発足す

曩の市議会で協議会条例が可決され、委員三十名の委嘱もきまり、去る十二月二十二日第一回協議会を開催し、次のとおり調査並に審議の範囲を、協議決定し発足されることになった。

協議会の調査審議範囲

- 一、交通道德の高揚に関する事項
- 二、法令の周知徹底に関する事項
- 三、交通安全教育の推進に関する事項
- 四、各種広報の推進に関する事項
- 五、歩行者の安全対策に関する事項
- 六、学童・幼児の安全対策に関する事項
- 七、車輛交通の安全対策に関する事項
- 八、踏切事故防止策に関する事項
- 九、道路及び安全施設の整備に関する事項
- 十、交通規制合理化の検討に関する事項
- 十一、通行制限適正化の検討に関する事項
- 十二、道路標識・標示の整備に関する事項
- 十三、駐車場の整備促進に関する事項
- 十四、道路有効幅員の確保に関する事項

当所の動き

業種別記帳講習会開催

- 一、とき 第1回 39・10・19日 13時～16時(物品販売業)
 - 第2回 10・21日 (食料品小売業)
 - 第3回 11・5日 (建築業・製造業)
 - 第4回 11・9日 (サービス業)
 - 第5回 11・10日 (環境衛生業)
- 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮税務署・宇都宮青色申告会
 - 一、内容 業種別税法改正に伴う記帳処理について
 - 一、講師 宇都宮税務署所得税課
課長補佐 安納攸昌氏他
(聴講者 二二七名)

金融制度説明会開催

- 一、とき 39・10・29日 14時～16時
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所
- 一、内容 金融事情と年末融資対策について
- 一、講師 足利銀行本店専務取締役 岡 一雄氏
(聴講者 二十五名)

実務を中心とした簿記講習会開催

- 一、とき 39・11・11日～13日(3日間) 13時～16時
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮青色申告会
- 一、内容 実務を中心とした簿記の記帳について
- 一、講師 経営管理士 中村 秀司氏
(聴講者 四十七名)

縫製業経営研究会開催

- 一、とき 39・11・19日 13時～16時
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所
- 一、内容 (1)縫製業産地診断の結果について
(2)縫製業界の経営のあり方について
- 一、講師 玉川大学教授 並木 高笑氏
(聴講者 十八名)

騰写印刷技術講習会開催

- 一、とき 39年・11・24 26 30日・12・3 7 10 14 17 21 23日
(10日間毎日18時～20時)
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮市教育委員会
- 一、内容 騰写印刷技術について

◎ オリンピック全国商店コンクール受賞優秀店

きものと帯

趣味の京呉服
うつのみや
大森屋
日野町通り TEL.4-6308

若い世代のシンボル

VAN
JAC

紳士モード **やまと**

うつのみや オリオン通り
曲師町店・鉄炮町店・江野町店

世界の洋酒 日本清酒

食料品

有限会社 **春日屋商店**
宇都宮市鉄炮町通り

電話(3) 3541
6733
9831

- (1)楷書体の書き方
 - (2)ゴシック体の書き方
 - (3)年賀はがき製版(二色刷印刷)
- 一、講師 新光社々長 坂木大三郎氏
(毎回聴講者 三十名)

改正税法説明会開催

- 一、とき 39・11・27日 13時~16時
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当 所
- 一、内容 昭和39年改正税法の主要点について
- 一、講師 税理士 小口 美好氏
(聴講者 三十六名)

みはし通り商店街診断報告会開催

- 一、とき 39・11・27日 17時~19時
- 一、ところ 旭町 於中村
- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 一、内容 みはし通り商店街診断結果と今後のあり方について
- 一、講師 横浜市立大学教授 山口 辰男氏
(聴講者 三十六名)

青色申告決算要領説明会開催

- 一、とき 39・12・8~9日・12・11~14日13時~16時
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮税務署・宇都宮青色申告会
- 一、内容 所得税青色申告決算書作成の要領について
- 一、講師 宇都宮税務署所得税課 所得税課長補佐 安納俊昌氏他
(聴講者 一五〇名)

国鉄当局へ緊急陳情書提出す

宇都宮鉄道管理局設置促進本部(本部長宇都宮市長佐藤和二郎)では、十二月二十三日、次の陳情書を携え、佐藤市長・末永市議会議長を始め関係者多数上京、国鉄本社・同関東支社・同東京鉄道管理局に、それぞれ陳情した。なお、当所より高橋副会頭・藤生専務理事参加せり。

東京鉄道管理局管内への編入に関する

陳 情 書

国鉄当局におかれましては、本果城の大半が首都圏に包含され産業・民生等各方面にわたって発展途上にあること豊富な観光資源を有し年毎に観光客が増大してきている等の事情を考慮下され、本県内輸送力の整備、拡充には特段の御尽力を賜わり、私どもの心から感謝申しあげているところでございます。

さて、最近の東北本線沿線についてみますと、首都圏市

● オ リ ン ピ ッ ク 全 国 商 店 コ ン ク ー ル 受 賞 優 秀 店

レジャーに……スポーツに……

カバンのことなら

銀座堂靴店

におまかせ下さい。

宇学園高・宇女商高指定店

宇都宮市馬場町3208番地

TEL (2) 5508



杉村塗料株式会社

宇都宮市国鉄駅前
TEL. (4) 3301 (代)



よい子の

おもちゃ

桃太郎

宮ビル

TEL (4) 3361



街地開発区域の指定にもつき、すでに諸施策を講ずるとともに、百万都市建設の大目標に向けて巨歩を踏み出そうとしている宇都宮市をはじめとして、小山地区、或は那須地区にみられますように、県内各域において急テンポの開発が進められております。さらに遠くは郡山及び仙台地区が新産業都市の指定を受ける等、各所において開発、発展の現状にあり、東北本線はその複線化、電化区域の伸長、小山電車基地の建設等、年毎に進みつつある輸送力の整備拡充と合せ、名実ともに東海道本線に次ぐ重要幹線となつてきております。

このような東北本線の管理は一元的であるべきが本来の姿であると思われるにもかかわらず、現実は傍系から管理を受けるといふ不合理なものになっております。この不合理を是正するとともに、水戸及び高崎鉄道管理局に分断編入されることよつて蒙る不利、不便を除去するため、本県としましては昭和二十五年の国鉄機構改革以来長年にわたり、宇都宮鉄道管理局の設置を要望して参つたわけでございます。

しかるに最近にいたり、高崎鉄道管理局においては、宇都宮分室の機能縮小ないしは引きあげを構想中やに聞き及んでおりますこのような動きは、東北本線の使命、役割を軽視する不合理極まりない構想であると思われまますので、本県民の絶対に承服できないものであります。

こうした経緯を背景に、本県民の中には、本県域の東京鉄道管理局管内編入を要望する声が急速に高まつてきております。なんとすれば、前述しましたように、重要幹線である東北本線の機能を十全に發揮させる管理のあり方は一元的方式によるのが最も望ましく、それには、東鉄において管理するのが、より合理的であると思われまますし、距離的観点、或は経済圏からいつても、それが本県民にとつて極めて有利だからであります。

以上のような理由で、本県といたしましては、最終的には宇都宮鉄道管理局設置を要望してやまないものであります。が、当面、本県域を東京鉄道管理局管内に編入されるよう、特段の御高配を賜りたく、ここに県民の総意をあげて陳情申しあげます。

昭和三十九年十二月二十三日

宇都宮鉄道管理局設置促進本部

本部長 宇都宮市長 佐藤和三郎

◎中小企業相談所の利用状況

(昭和三十九年自四月至十一月)

宇都宮商工会議所

1 経営指導員による相談内容及び件数

種目	相談指導内容	件数
法規	法律相談について	一
金融	店舗改造資金及運転資金借入申込	六五二

オリンピック全国商店街

コンクール入賞!!

通産大臣賞・受賞商店街

大工町大通り商店街



2 講習会、講演会、説明会の開催

種目	開催回数	参加延人員
税務	六	一六七
経理	八	四〇三
経営	二〇	九一八
労働	六	三三七
技術	八	二五二
金融	一	二五
社会保険	三	四五
その他	九九	二、四五六
計	一五一	四、六〇三

3 事業主の事務代行

代行の種類	委託事業主の数	対象従業員数
健康保険	八	五一
失業保険	二二三	一、六五四
労災保険	五四	三八七

御 贈 答 に
フレッシュで特色のある
和菓子・洋菓子

菓 子 と 食 堂、食 料 品
味 の デ パ ー ト

マスキ

相生町本店 TEL 3-1391 (代表)
江野町店 TEL 4-9156



屋外広告	一	
計	二八六	二、〇九二

4 専門指導員による相談

種 目	担 当 者	件 数
法律相談	岩淵弁護士	三
発明相談	堀田弁理士	五〇
税務相談	佐久間税理士外	五七
経理相談	米光税理士外	六
計		一一六

5 企業診断

診 断 区 分	診 断 事 業 所 数
店舗外面診断	八
店舗内面診断	六
縫製業診断	四
計	一八

6 商店街診断

実施月日	商店街名	診 断 員
一月 二五~二六日	みはし通商店会	横浜市立大教授 山口辰男

7 昭和三十九年度金融あっせん受付並に処理状況
(昭和三十九年四月より一月月迄)
(単位千円)

区 別	件 数	金 額	摘 要
申込受付	一三七	七九、八八〇	
承認	一一一	六九、六五〇	
保留又は拒絶	一四	八、六〇〇	

減額	二	七〇〇
取消	二	一、二〇〇

金融あっせん業種別承認表 (単位千円)

業 種 別	件 数	金 額	摘 要
金属機械器具工業	一三	七、九〇〇	
化学工業	二	八〇〇	
食品工業	二二	一三、三〇〇	
製材木製品工業	七	四、五〇〇	
印刷製本業	四	二、六〇〇	
繊維工業	七	四、〇〇〇	
その他の工業	三	二、一〇〇	
土建業	二	一、四〇〇	
サービス業	三八	一九、八五〇	
物品販売業	二四	一三、二〇〇	
計	一一二	六九、六五〇	

当所新規会員の御紹介(敬称略)

業 種	住 所	氏 名
自動車整備業	西原町三番一	佐藤 光男
金網製造販売	材木町五二	大根 田金造
自動車整備業	中戸祭町九一	(株)戸祭モーター整備工場
砂利販売業	戸祭町三、六五	富貴 沢源藏
自動車販売	一条町三丁目一	(株)高野自動車商会
左官業	大曾町五	森 弘 邦
洋品小売業	今泉町七〇七二	岡田 長次郎
運転教習所	今泉町三、五五	(株)宇都宮自動車学校
旅館業	上桑島町二、四三	屋 代 正市
写真機用品製造業	平出町工業団地第二九号	(株)カコ宇都宮工場
手袋製造	戸祭町一、八七	手塚メリヤス(株)
輸玩具製造	河原町一、〇八七	(株)小峰玩具製作所
浄化槽装置	江曾島町二、〇八	宇都宮文化センター(株)
クリーニング業	鎌の宮町五	鎌 田 四郎
自転車業	中戸祭町八番	五十部 福次

宇都宮手形交換高 (単位千円)

年 月	手 形 枚 数	金 額
三十九年十月	五三、四八九	一七、五七七、〇〇三

年	月	手形枚数	金	額
三十九年十月		八七五	六三、六七四	
十一月		七八〇	六二、〇五七	

宇都宮銀行会(八行加盟)預金貸付高

年	月	預金	貸付
三十九年十月		五〇、五七六、一〇五	三三、二二二、六二六
十一月		五二、四〇九、八八二	三三、二九四、二七五

宇都宮市中小工業施設改善及び従業員宿舍建設資金融資状況

年	月	摘要	件数	金額
三十九年十一月		申込認分	一三六	一〇、〇五〇
十二月		申込認分	一三三	五、九五〇

宇都宮市中小企業互助会運転資金融資状況

年	月	摘要	件数	金額
三十九年十一月		申込認分	六五	一九、三二〇
十二月		申込認分	一一二	二九、四〇〇

オリンピック全国商店・商店街コンクール
参加優秀商店表彰さる

昨秋国民待望の東京オリンピック大会開催を機に、商業の真価を發揮し、商業者のサービスの向上と、消費者の信頼感を一層高めるため、十月一ヶ月間を期日として、日商並に各地商工会議所主催にて、商業道德高揚運動を全国的に展開すべく、オリンピック全国商店・商店街コンクールが実施されました。

当市の参加申込商店に対し、中央審査委員会において、厳重審査の結果、次の順位にて優秀商店街と商店が決定され、十二月三日午後一時より当所第3会議室に於て、受賞者に対し多数関係者来賓臨席の上、表彰状(記念品)の伝達式が行なわれました。

通商産業大臣賞	大工町大通り商店街
代表者 坂本 久吾	
日本商工会議所会頭賞	鉄炮町三、二二五
有限会社 春日屋商店	
曲師町三、一三八	
有限会社 やまと	

日本商工会議所会頭賞 日野町三九
有限会社 大森屋
相生町一五〇一
株式会社 桃太郎玩具店
川向町七四五
杉村塗料株式会社
馬場町三、二〇八
有限会社 銀座堂

躍進宮の秋まつり

盛況裡に幕を閉ず

恒例「宮の秋まつり」は、宇都宮市町村合併10周年記念行事と併せて、11月19日より25日迄(7日間)名称も新たに「躍進宮の秋まつり」として、次のような多彩な行事スケジュールを追って、盛大に開催されました。

例年まつりのムードを一段と盛りあげる、市内参加各加盟商店による、連合福引大売出しも、本年は特にキャッチフレーズを、チョコレートのすべてとし、賞品を末等迄、バラエティーに富んだ各種チョコレートに限定し、特賞一か年分のチョコレートのおやつが当たる(当籤者十名)デラックスな夢に、お子さんの人気を集め、お母アさん方の笑がおと共に、ドル入りを自然とほころばせ、折からの歳末前哨戦大セールに、各商店とも例年を上廻る売上げの上昇を示しました。

また、本年より秋まつりの名物行事として、今後関東随一を誇る催物とすべき意気込にて企画された、花いっぱい運動に呼応した美麗な「フラワーカーパレード」が各商店街・大商店の参加により、会期中二日間に亘り、新市内のすみずみ迄華やかな行進を続け、市民の目を驚きに輝かせました。

なお従来やゝもすると宮のまつりが、中心の繁華街のみのまつりに終るとの、一部不評の声もありました為、町村合併10周年記念を機に、このよるこびを共にするべく、東京一流芸能人を招き、(民謡宮の会選抜メンバー参加)豪華な演芸陣を組織し、農産品量目あてコンクールと共に、合併地区11か町にて、3日間移動演芸会を開催、各地域の人々の絶讃を博しました。

会期中終始すみきった秋晴の好天に恵まれ、真に躍進の名にふさわしき、大宇都宮市の面目を大いに發揮、秋最高の人出を呼んで、好評のうちに華やかなまつりの幕を閉じました。

行事名	期間	会場
栃木県発明品展覧会	13日~18日	東武5階
栃木県木製品総合展覧会	22日~24日	〃
菊花品評会	期間中	東武西口広場
計量器のうつり変り展示会	期間中	スポーツセンター

移動演芸会	19日～21日	11カ町巡回
量目あて移動懸賞大会	19日～21日	〃
伝馬町文化財屋台展示公開	20日～23日	伝馬町
大町屋台展示公開	19日・20日	大工町
世界花嫁大行進	22日	市内行進
童謡の作詞作曲募集(11月5日)と発表会	22日	西小学校
ニューモデル自動車ショー	22日・23日	東武西口広場
フラワーカーパレード	22日・23日	市内行進
カナリヤ品評会	23日	太子会館
警察犬訓練実演大会	23日	市役所広場
農産物品評会	22日～24日	スポーツセンター
鶏卵品評会	20日～24日	〃
畜産共進会	20日～24日	食肉卸売市場
農業祭パレード	20日・21日	市内行進
農業クラブ実績展示会	21日～23日	スポーツセンター
レクリエーション大会	23日	中央小学校
林産物花卉種苗展示即売会	21日～23日	スポーツセンター
農業生産資材展示会	20日～24日	〃

◎当所事業運営の基盤を生む

各種開催会議経過詳報

(一) 工場誘致委員会

- 一、とき 39・10・27日 14時～16時30分
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 設楽・荒井正副委員長・鈴木(善)・福田(富)委員・藤生専務理事・星事務局長
 臨席者 市萩原商工観光課長・小林工場誘致係長
- 一、協議事項
 - (1) 工場誘致の推進について
 - (2) 工場誘致関係工事の地元業者請負について
 (開会前一時間に亘り、誘致工場の操業の現況並に誘致決定工場の工事進捗状況等につき、全員平出工場団地の現場を視察せり)

(二) 金融懇談会

- 一、とき 39・10・29日 14時～16時
- 一、ところ 第1会議室
- 一、出席者 鮎田・鈴木(善)金融正副部長・福田(富)・野沢常議員・笠間・竹石・坂井・中原・宮本木村・田代議員・商工中金中路支店長・宇都宮信用金庫萩原常務理事・第一銀行有田支店

長・栃木相互銀行岡本営業部長・足銀市内各支店長・宇陽証券綾木支店長外五名
 臨席者 足利銀行本店岡一雄専務取締役

- 一、懇談事項
 - (1) 金融事情と年末融資対策の問題について(岡専務を囲んで)
 - (2) その他

(三) 常議員会

- 一、とき 39・11・4日 14時～16時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 河合副会頭・小保方・粕谷・野沢・柳田・荒川・坂本・設楽常議員・上野監事・藤生専務理事・星事務局長
- 一、協議事項
 - (1) 11～12月当所事業予定について
 - (2) 栃木県商工会議所議員大会開催について
 - (3) 秋まつり実施について
 - (4) 新会員加入承認について
- 一、報告事項
 - (1) 9～10当所業務概要報告

(四) 議員懇談会

- 一、とき 39・12・7日 14時～16時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 保坂会頭・小林・荒牧副会頭・渡辺・粕谷・野沢・福田(富)・小花・荒川・青木・坂本・鈴木(善)・鈴木(良)常議員・笠原監事・笠間河合・竹石・中村(利)・植木・増淵(幹)・福田(新)・中原・安久都・赤塚・木村・篠崎議員
- 一、協議事項
 - (1) 新年名刺交換会開催について
 - (2) 次回議員懇談会開催期日について
 - (3) 昭和40年度市補助金増額交付要請について
 - (4) 昭和40年度市商工行政に対する要望について

(五) 市議会側との懇談会

- 一、とき 39・12・7日 16時～17時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 市議会側・末永市議会議長・大島経済常任委員長・黒後・中里・大垣経済常任委員・岡本経済部長・萩原商工観光課長
 当所側 保坂会頭・高橋・荒牧副会頭・青木坂本市商店街連盟副会長・福田商業小売部会長・笠間商業卸副会長・鈴木金融副部長・粕谷文化副部長・増淵建設部会長・木村議員・藤生専務理事・星事務局長

一、懇談事項

- (1) 昭和四十年年度市補助金増額交付要請について
- (2) 同年度市商工行政に対する要望について

(六) 中小企業相談所運営委員会

- 一、とき 39・12・11日 14時~16時
- 一、ところ 第1会議室

一、出席者 柳田委員長・田代委員・藤生専務理事・星事務局長・中小企業相談所経営指導員全員

一、協議事項

- (1) 昭和40年度中小企業相談所事業計画について
- (2) その他

(七) 企画委員会

- 一、とき 39・12・14日 14時~16時
- 一、ところ 第3会議室

一、出席者 見当・渡辺(長)・宮本正副委員長・鈴木(良)増淵(幹)委員

一、協議事項

- (1) 昭和四十年年度当所並に中小企業相談所事業計画について
- (2) 同年度市商工行政施策に対する要望書提出について
- (3) 当所開催会議参集方法について
- (4) 新年名刺交換会開催について

実務相談室

本号から皆様が実務上必要とする、実際のことかららについて、毎号解説を掲載していきたいと思ひます。日常疑問のことが御座いました節は、どうぞ御遠慮なく当所内中小企業相談所へおたずね下さい。(電話三〇七三)

「賃金台帳」と「源泉徴収簿」について

(問) 当方では現在「賃金台帳」と「源泉徴収簿」とを別々に作成していますが、内容は殆んど同一なので、事務の簡素化から一方を省略したいが、法律的にはどうでしょうか。

(答) 賃金台帳は、労働基準法第一〇八条にて規定されておりませんが、源泉徴収簿は法律で定められたものではありません。

然し給与の支払者(徴収義務者)は、給与を支払う際に各人からその都度所得税を徴収し、年末に年末調整を行ない、各人ごとに記録を明示しておくことが要求されております。

こうしたことから源泉徴収簿は、徴収義務者の所得税徴収事務を簡便に、しかも正確に行なう為に必然的に生れたものだといえます。従つて様式も別に規正されたものでなく、徴収義務者が以上の主旨にそつて、事務処理をする為に最も合理的な機能を備えた、内容の様式を利用することが望ましい訳です。

そこで徴収上の不便さえなければ、賃金台帳を以て源泉徴収簿に代えることもできるわけですが、この場合、労働基準法上の賃金と、所得税法上の給与所得とが、必ずしも同一ではないという点からも、やはり現在の賃金台帳のみの記帳では不十分と思われます。

なお、参考迄に市販のこれらを併合した「所得税源泉徴収簿兼賃金台帳」を利用されることも良い方法だと思ひます。

当所構内に国旗掲揚塔と

美しい花壇ができました

全国的な国旗の崇敬運動と、花いっぱいの美化運動に呼応すべく、東京オリンピック大会記念事業として、当所四階屋上に、日章旗と会議所旗の二基の立派な掲揚塔(福田(後)当所議員寄贈協力)と当所南側空地に華麗な花壇(石川・渡辺市議・福田(新)当所議員・宇高農園芸部・各寄贈協力)が造成されました。

これは先般の常議員会にて、保坂会頭提案により議決されたものが、この程竣工されたもので、連日屋上塔屋にへんぼんとひるがえる鮮やかな両旗と、四季毎に道ゆく人の目をとらうとするおす美しい花壇の造成によって、国旗掲揚と花いっぱい両運動の推進団体たる会議所の面目を、一応保つことができました。

各方面の絶大なる御協力に對しまして、紙上より厚く御礼申しあげます。

喪中につき年末年始の御挨拶御遠慮申
上げます

昭和三十九年十二月二十一日

宇都宮商工会議所

常議員 鈴木善助

常議員 坂本久吾

事務局日誌

十月

廿二日 宇都宮大衆食堂組合創立十周年記念祝賀会開催
二時 教育会館二階大ホール 小川次長出席

廿三日 交通安全対策協議会準備会開催 十時 市役所市議会議事第三控室 藤生専務理事出席
山崎百貨店新装開店記念祝賀会開催 一時 山崎百貨店五階ホール 保坂会頭・藤生専務理事外議員多数出席

廿四日 隊友会栃木県支部連合会第一回慰霊祭開催 十一時 陸上自衛隊宇都宮駐と心地 藤生専務理事出席

廿五日 第五十二回珠算能力検定試験施行 九時 旭中学校

廿六日 宇都宮市社会教育委員会開催 二時 市役所正庁 藤生専務理事出席

廿七日 栃木県商工会議所連合会正副会頭会議開催 十時 農協会館 保坂会頭・藤生専務理事・星事務局長出席

廿八日 当所工場誘致委員会開催 二時 当所第三会議室 設楽委員長他六名出席
昭和三十九年度栃木県統計大会開催 十時 栃木会館地下小ホール 藤生専務理事出席

廿九日 宇都宮市工場誘致委員会開催 十時 市役所正庁 藤生専務理事出席
宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 一時 当所日本間 藤生専務理事出席

三十日 当所金融懇談会開催 二時 当所第一会議室 鮎田部会長他二十七名出席
秋まつり協力委員会開催 十時 当所第一会議室 保坂会頭他三十七名出席

卅一日 北関東地区工業人倶楽部発足記念第一回北関東工業展開場式開催 十一時 市スポーツセンター 保坂会頭・藤生専務理事出席
宇都宮労働基準監督署・宇都宮労働基準協会昭和三十九年度永年勤続従業員表彰者詮衡委員会開催 二時 監督署会議室 小川指導員出席
交通安全対策協議会準備会開催 十時 市議会議事第三控室 藤生専務理事出席

十一月

一日 宇都宮専門店会創立十五周年記念パーティ開催 四時三十分 マスキン三階特別食堂 荒牧副会頭

藤生専務理事出席

二日 宇都宮青色申告会役員会並に懇親会開催 四時 当所第三会議室 星事務局長出席
栃木県信用保証協会懇談会開催 五時 若次藤生専務理事出席

四日 栃木県優良食品展示会審査会開催 十時 食品工業指導所 藤生専務理事出席
当所常議員会開催 二時三十分 当所第三会議室 河合副会頭外九名出席

五日 栃木県中小企業会館建設促進委員会開催 十時 農協会館第四会議室 保坂会頭・藤生専務理事出席

六日 ①徳陽相互銀行宇都宮支店開店披露式開催 正午 栃木会館三笠 保坂会頭出席
②不二工機製作所宇都宮工場落成披露式開催 十二時三十分 星事務局長出席
栃木ふそう自動車③新社屋完成披露式開催 二時 藤生専務理事出席

七日 宇都宮市スポーツ振興審議会開催 十時 市役所公室前室 藤生専務理事出席
宇都宮税務署納税表彰式開催 一時 税務署 藤生専務理事出席

八日 大東相互銀行宇都宮支店開店披露式開催 十一時 栃木会館 保坂会頭出席
海上自衛隊宇都宮航空基地開設一周年記念祭開催 九時 航空基地 星事務局長出席

九日～十一日 宇都宮市往居表示審議会先進都市視察 大津市・岐阜市 藤生専務理事出席

十日 栃木県食品工業協会第三回優良食品展示会優秀展示品表彰式開催 十時 栃木会館 星事務局長出席
栃木県婦人少年室第十八回働く青少年者のつどい開催 一時 くらかみ荘 星事務局長出席

十一日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事々務局長会議開催 十時 農協会館図書室 星事務局長出席
栃木県木材業協同組合連合会第七回栃木県優良木材展示会及び表彰式開催 九時 木材市場 小川次長出席

十二日 栃木県商工会議所連合会正副会頭会議開催 二時 関東バス④会議室 高橋副会頭・星事務局長出席
宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

十三日 第十四回栃木県発明展覧会審査会開催 十時 東武五階ホール 小川次長出席

十四日 第一回群馬・栃木商工会議所交流会議開催 那須ホテル 保坂会頭・藤生専務理事出席
⑤辻由兵衛商店岡本生コンクリート工場完成祝賀式開催 十一時 星事務局長出席

十六日 ⑥上野百貨店増築完成披露式開催 十時 星事務局

局長・小川次長出席

国産愛用推進協議会国産品認識週間パーティー開催 二時 総理府ホール 藤生専務理事出席

中小企業退職金共済制度加入促進事務打合せ開催 二時 当所第三会議室 亀田指導員出席

米沢商工会議所議員当地産業視察来所 十二時二十分 田中駒藏会頭他二十三名

第十四回栃木県発明展覧会並びに学生児童発明くふう展覧会の入賞者表彰式開催 十一時 市役所正庁 星事務局長出席

国道宇都宮米沢線改良促進期成同盟会総会 一時 赤坂プリンスホテル 藤生専務理事出席

日商第五回中小企業及び労働特別合同委員会開催 一時三十分 日商役員室 藤生専務理事出席

宇都宮バンベ名店ビル商店街バンビルサービスクラブアーケード工事完成式開催 五時 上野特別食堂 星事務局長・小川次長出席

福島県東白川郡塙町商工会当地商店街視察来所 十時 会長他五十名

十八日 日商第十一回地域経済開発特別委員会開催 十二時 東商ビル第一、第二会議室 藤生専務理事出席

日商第一一二回常議員会開催 二時 東商第一、第二会議室 藤生専務理事出席

十九日(廿五日) 町村合併十周年記念躍進宮の秋まつり開催

十九日(廿一日) 宇都宮市計量普及協協会計量器うつりかわり展示会開催 市スポーツセンター

二十日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催 一時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

廿一日 栃木県商工会議所連合会臨時専務理事々務局長会議開催 十時 連合会事務局 星事務局長出席

廿二日 栃木県物産会菊花展示品評会賞品賞状授与式 一時三十分 木材会館二階 藤生専務理事出席

宇都宮雨情会董誦発表会開催 一時三十分 西小学校 藤生専務理事出席

栃木県木製品総合展示会表彰式開催 四時 木材会館 星事務局長出席

廿四日 宇都宮市住居表示審議会開催 十時 市議員第三控室 藤生専務理事出席

郵便協力会懇談会開催 十一時 東条会館 星事務局長出席

宇都宮市青少年問題協議会開催 二時 市役所正庁 藤生専務理事出席

群馬県観光宣伝キャラバン座談会開催 二時 みくら山会館 藤生専務理事出席

廿五日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

栃木県酒造組合通常総会並びに叙勲祝賀会開催 一時三十分 松寿苑 藤生専務理事出席

宇都宮労働基準協会永年勤続従業員表彰式並びに懇親会開催 二時 太子会館ホール 藤生専務理事出席

廿六日(廿七日) 宇都宮市工場誘致委員会先進都市視察 松戸市・市川市 星事務局長出席

栃木県商工会議所連合会正副会頭会議開催 一時 関東自動車(株)会議室 保坂会頭・藤生専務理事出席

廿七日 坂本常議員妻女千代殿告別式 一時 清厳寺 保坂会頭・藤生専務理事その他当所議員多数参列す

十二月 住居表示実施に伴う説明会開催 十時 栃木会館第一、第二会議室 藤生専務理事出席

宇都宮家庭裁判所委員会保坂会頭委嘱さる 栃木県商工会議所議員大会開催 十時三十分 栃木会館小ホール 当所より保坂会頭・小林・荒牧副会頭以下議員多数出席

三日 栃木県青少年問題協議会開催 十時 栃木会館第一会議室 藤生専務理事出席

栃木県少年産業カウンスリング制度普及懇談会開催 一時三十分 栃木労働基準局 藤生専務理事出席

四日 宇都宮鉄道管理局設置促進本部役員会開催 十一時 市役所公室前室 藤生専務理事出席

小松鉄工所新工場披露式開催 十一時 星事務局長出席

五日 栃木県商工会議所連合会議員大会決議事項処理打合せ開催 十時 連合会事務局 星事務局長出席

六日 第十九回計算尺技能検定試験施行 九時 宇工校

宇都宮市交通安全対策協議会準備会開催 十時 市議会第三控室 藤生専務理事出席

宇都宮家庭裁判所委員会開催 十一時 庁会議室 保坂会頭出席

当所議員懇談会開催 一時三十分 当所第三会議室 保坂会頭他二十五名出席

市議会経済常任委員との懇談会開催 三時三十分 当所第三会議室 保坂会頭他十二名出席

九日 栃木県青年学級研究会開催 十時 くらかみ荘 小川仁夫指導員出席

失業保険優良事業所及び優良事務組合の表彰式 十時 みくら山会館 星事務局長出席

正 賀

龍門社宇都宮支部	全日本製綿協同組合栃木県支部	宇都宮商工会議所失業保険事務組合	宇都宮市計量普及協会	宇都宮市青年會議所	宇都宮市青色申告會	宇都宮市青色申告會	宇都宮中小企業労働福祉協議會	宇都宮市中小企業互助會	宇都宮市中小商工業施設改善資金事務取扱所	宇都宮市商店街連盟	宇都宮商工会議所中小企業相談所	栃木県商工会議所連合會	中小企業金融公庫宇都宮支店
----------	----------------	------------------	------------	-----------	-----------	-----------	----------------	-------------	----------------------	-----------	-----------------	-------------	---------------

◆事務所は宇都宮商工会議所内 電話(3)3.071・3.072・3.073・3.074

九日 関東商工会議所連合会幹事会開催 正午 東商ビル二階役員会議室 藤生専務理事出席
 十日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席
 宇都宮市公明選挙推進協議会開催 十時 市議会議事室 藤生専務理事出席
 栃木行政監察局行政相談委員連絡会開催 一時 行政監察局 藤生専務理事出席
 十一日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席
 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催 一時 当所第三会議室 藤生専務理事出席
 十一日 当所中小企業相談所運営委員会開催 一時三十分 図書室 柳田委員長他六名出席
 栃木県共同募金会助けあい市民芸能大会開催 六

十二日 栃木会館 保坂会頭・藤生専務理事出席
 栃木会館クラブ定例会開催 十二時三十分 クラブ室 荒牧副会頭・藤生専務理事出席
 十四日 栃木県児童福祉審議会開催 十時 栃木県児童相談所 藤生専務理事出席
 当所企画委員会開催 一時三十分 当所第三会議室 見当委員長外四名
 十六日 日商第一一三回常議員会開催 一時 東商ビル第一、二会議室 藤生専務理事出席
 足利銀行雀宮支店開店披露パーティー 一時 星事務局長・小川次長出席
 十八日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事々務局長会議開催 十一時 栃木商工会議所 星事務局長出席

小売物価調査報告表

(昭和三十九年十二月現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格			
穀類・粉製品	うるち米(配給)	1kg	93.50	野菜・果実	大根	1kg	30	畜産食料品	牛肉	100g	70	加食料工品	竹輪	100g	10			
	“(非配給)”	”	118		キャベツ	”	80		豚肉	”	75		たくあん	”	8			
	“(外米)”	”	—		ねぎ	”	80		牛乳	180cc	16		菓子	ビスケット	1包	100		
	“(準内地米)”	”	83		玉ねぎ	”	40		鶏卵	100g	20			キャラメル	1函	20		
	もち米	”	120.50		りんご	”	60		バター	1函	180			ドロップ	100g	25		
	精麦	”	60		みか	”	100		調味料	醤油	1本			205	せんべい	”	33	
	小麦粉	”	60		水産食料品	まぐろ	100g			20	味噌		1kg	95	嗜好品	清酒	1本	485
	小麦	100g	24			さば	”			10	化学調味料		1かん	190		ビール	”	115
	豆	”	10			いわし	”			17	砂糖		1kg	150		焼酎	”	345
	パン	”	6			いか	”		15	食用油	1ℓ		180	ウイスキー		”	300	
野果実	かんしょ	1kg	60	野菜	塩煮干	”	35	加食料工品	豆腐	100g	6	品	ジュース	”	300			
	ばれいしょ	”	30		のり	1帖(10枚)	210		油あげ	”	30		緑茶	100g	40			
嗜好品	紅茶	1かん	150	織品	作業服	1着	1,900	燃料	木炭	1俵	650	雑品	洗濯せっけん	1袋	450			
	たばこ(いこい)	1函	50		男子メリヤス	1枚	200		まき	1束	80		クリーム	1個	120			
	織	晒木綿	1m		26	男子ワイシャツ	”		800	石炭	1噸		170	新聞	1ヶ月	450		
		ポプリン	”		90	男子くつ下	1足		180	れん炭	1袋		320	男子革靴	1足	3,000		
		キャラコ	”		85	婦人くつ下	”		400	ガソリン	1ℓ		48	運動靴	”	300		
		ネル地	”		90	毛糸打綿	500g		1,500	家庭用機械器具	テレビ		1台	52,000	げた	”	380	
	サージ	”	1,380		建築材料	杉角材	1立方m		24,000		電気洗濯機		”	23,000	ちり紙	100枚	17	
	オーバー地	”	—			杉板材	1平方m		180		電球		1個	55	ノート	1冊	20	
	富士絹	”	350			セメント	1袋		330		自転車		1台	16,000	飯茶わん	1個	20	
	ナイロンサージ	”	225			くぎ	100g		7	ミシ	”		28,000	なべ	”	490		
品	男子背広服	1着	10,000	表	1枚	430	時計	1個	4,500	マッパ	1袋(10箱)	35						
	男子学生服	”	3,600	板ガラス	”	60	雑品	感冒薬	1箱(25錠)	120	鉛筆	1本	10					
													ファイル	”	180			

宇都宮の全商工業者は一人残らず
会員倍加運動実施中
 商工会議所の会員になりましょう

◇商工会議所は夫々の地域の経済発展を目指して事業を図っています。
 ◇商工会議所は商工業者のサービス機関です。
 ◇商工業者の世論を商工会議所に集めましょう。

会員特定商工業者の皆様

昭和40年の新春を迎え心からお慶びを申し上げ、併せて会員並びに特定商工業者各位の御多幸を祈念致します。

さて、本年はわが国経済界にとつて何かと問題が多い年であると考えられます。この意味からも商工会議所の使命もまたいよいよ重大であることを痛感致す次第であります。

つきましては、昭和40年度の当会議所事業計画策定にあたつて会員並びに特定商工業者の各位からも広く御意見と御助言をいただき、事業活動の一層の適切化と活発化を図りたいと存じますので、日頃各位がお考えになつている点や、感じられた点などを御記入の上、当所宛御送付下さいませ願ひ致します。

尚、特に中小企業の管理者及び幹部従業員に対する高度の夏季大学講座並びにその他の講習会を開講いたしたいので、これに対する御回答を願ひ致します。

宇 都 宮 商 工 会 議 所

会 頭 保 坂 正 七

御 意 見 欄

事業所名

代表者名

商業振興に関する意見

工業振興に関する意見

交通運輸に関する意見

金融に関する意見

建設に関する意見

観光事業振興に関する意見

工場誘致市街地開発に関する意見

調査広報に関する意見

来年度の希望事業・その他

〔特に中小企業の管理者及び幹部従業員に対する
高度の夏季大学講座についての希望事項〕